



(3) 基本方針3 自転車の強みを発揮した地域づくり

表 3.9 基本方針3の取り組み状況

施策体系	施策	施策の実施状況概要	施策の成果概要
7) 都心部におけるコミュニティサイクル*の利便性向上と観光利用の促進	施策18 DATE BIKE の利便性向上	・DATE BIKE ポートの適切な設置支援の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・DATE BIKE の利用者状況は、年々増加(令和6年度末時点で、総利用回数は 116.7万回)
	施策19 来訪者等への DATE BIKE 利用を促す情報提供	・各種HPにDATE BIKE の利用案内を掲載	
8) サイクルツーリズムの推進と自転車を活用したコンテンツの創出支援	施策20 自転車を楽しむことが出来る環境づくり	・ツール・ド・東北を毎年共催するなど、自転車を活用したコンテンツの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回以上自転車を利用する割合は 30%前後で推移 ・各年度2件以上で堅調にコンテンツを創出
	施策21 国、県、周辺自治体や関係団体と連携した震災復興・伝承みやぎルートの整備	・自転車利用者にとって有益な情報の提供に向け、仙台データダッシュボードにおいて自転車通行推奨ルートを公開	
	施策22 サイクリストの受入サービスの充実		
9) 自転車を活用したライフスタイルの提案	施策23 自転車のメリットを活かした利用促進	・市HPやチラシに自転車の活用を促す情報を掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等に向けて自転車通勤を促進する制度の周知や広報を実施
	施策24 企業等による自転車利用促進等の支援		
10) 緊急時等における自転車活用の推進	施策25 庁舎等への自転車配備	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎に災害対応や現場確認作業用の共用自転車を配備 	
	施策26 災害時等における正しい自転車利用の推進		

1) 施策の実施状況

(7) 都心部におけるコミュニティサイクルの利便性向上と観光利用の促進

DATE BIKE ポートの適切な配置を進めました。また、各種HPにDATE BIKE の利用案内を掲載するなど、利用促進に努めました。

<DATE BIKE (ダテバイク) の事業概要>

都心部の快適な交通環境の形成を目指すとともに、二酸化炭素排出量削減、中心市街地の活性化、市民の健康増進等を目的としたコミュニティサイクルサービスです。平成22年11月の社会実験を経て、平成25年3月より本格導入されました。会員登録すれば誰でも利用でき、街の中に設置されたどのサイクルポート(貸出・返却拠点)でも自転車の貸し出し返却が自由に行えます。

- 運営主体:株式会社ドコモ・バイクシェア(※全国各都市でコミュニティサイクルを運営)
- 貸出自転車台数: 1,200台 (令和7年12月末時点)
- ポート(貸出・返却拠点): 154か所(同上)※休止中の2ポートを含む
- 利用時間:一部のポートを除き、24時間利用可能



表 3.10 都心部におけるコミュニティサイクルの利便性向上と観光利用の促進の実施状況

施策	実績	R3	R4	R5	R6
施策18 DATE BIKEの利便性向上	DATE BIKEポートの適切な配置	○	○	○	○
	仙台MaaSに新たに実装したデジタルマップにおいて、DATE BIKEや公共交通機関等の情報を一体的に発信	-	-	○	○
施策19 来訪者等へのDATE BIKE利用を促す 情報提供	パンフレットを更新し、利用方法の周知や、より分かりやすい案内表示方法等を実施	-	-	-	○
	せんだい旅日和のモデルコースのひとつとして、「ダテバイクで街なかプチサイクリング」を掲載	○	○	○	○
	DATE BIKEの公式HPにおいて、英語による利用案内を掲載	○	○	○	○
	Discover SENDAIでDATE BIKEの利用案内を掲載	○	○	○	○



図 3.50 仙台MaaSホームページ



図 3.51 英語によるDATE BIKEの利用案内

資料：ドコモ・バイクシェアHP



(イ) サイクルツーリズムの推進と自転車を活用したコンテンツの創出支援

ツール・ド・東北を毎年共催するなど、自転車を活用したコンテンツの創出を行いました。また、自転車利用者へ向け、自転車通行推奨ルートを公開しました。一方で、施策22「サイクリストの受入サービスの充実」で位置付けていたサイクルステーションの設置やサイクルラックの普及・拡大については具体的な実績がありませんでした。

評価指標である自転車を活用したコンテンツの創出件数は毎年堅調に推移しており、目標の毎年2件を達成しました。

表 3.11 サイクルツーリズムの推進と自転車を活用したコンテンツの創出支援の実施状況

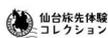
施策	実績	R3	R4	R5	R6
施策20 自転車を楽しむことができる環境づくり【重点】	自転車を活用した体験プログラムを発掘・創出・更新し、専用ウェブサイト「仙台旅先体験コレクション」において情報発信	○	○	○	○
	ツール・ド・東北を共催	※	○	○	○
	サイクルツーリズム促進のため、秋保・里センターにてレンタサイクルを実施	○	○	○	○
施策21 国、県、周辺自治体や関係団体と連携した震災復興・伝承みやぎルートの整備	宮城サイクルツーリズム推進協議会への参加	○	○	○	○
	震災復興・伝承みやぎルートの整備促進	-	-	○	○
施策22 サイクリストの受入サービスの充実	自転車利用者にとって有益な情報の提供に向け、仙台データダッシュボードにて自転車通行推奨ルートを公開	-	-	○	○
	せんだい旅日和のモデルコースのひとつとして、「ダテバイクで街なかプチサイクリング」を掲載（再掲）	○	○	○	○

※令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により現地イベント中止、バーチャルイベント開催となっている

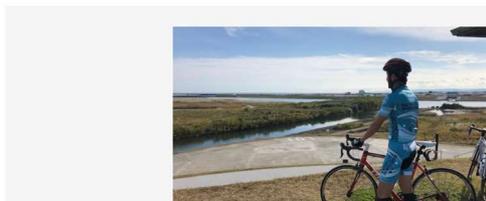


図 3.52 ツール・ド・東北 2024

写真提供：河北新報社



0120 真山堀運河サイクリングロード周遊～震災遺構サイクリングツアー
復興が第七期上～仙台沿岸地域を巡ります。



0120 関上観光潮風サイクリングツアー(2時間ライド)
関上の魅力を満喫できる観光サイクリングに出かけましょう。



図 3.53 仙台旅先体験コレクションより（自転車を活用したコンテンツ）

(ウ) 自転車を活用したライフスタイルの提案

市HPやチラシに自転車の活用を促す情報を掲載しました。また、企業等に向けて自転車通勤を促進する制度の周知や広報を実施しました。

表 3.12 自転車を活用したライフスタイルの提案の実施状況

施策	実績	R3	R4	R5	R6
施策23 自転車のメリットを活かした利用促進	身体活動量を増加させる啓発チラシ内に、自転車の利用例としてDATE BIKEの紹介を記載	-	○	-	-
	「せんだい環境Webサイトたまきさん」の「伊達な省エネ指南」にて、省エネの一環として自転車の利用を促すコラムを掲載	○	○	-	-
	健康情報ポータルサイト「アールワーク仙台」内でDATE BIKEの紹介記事を掲載	-	-	○	-
	仙台らしい環境に優しい行動である「杜の都スタイル」の一環として、自転車の利用を促すパネルをイベントで展示	-	-	○	○
施策24 企業等による自転車利用促進等の支援	「温室効果ガス削減アクションプログラム」の参加事業者における「従業員の自動車の抑制」の促進およびその取り組み状況について確認	○	○	○	○

(エ) 緊急時等における自転車活用の推進

庁舎等に公用自転車の配備を進めました。一方で、施策 26 で位置付けた災害時に自転車を有効活用する方策の検討については具体的な実績がありませんでした。

表 3.13 緊急時等における自転車活用の推進の実施状況

施策	実績	R3	R4	R5	R6
施策25 庁舎等への自転車配備	本庁舎に災害対応や現場確認作業用の共用自転車を配備し、近距離の移動手段として活用	○	○	○	○
施策26 災害時等における正しい自転車利用の推進	具体実績なし	-	-	-	-



2) 施策の成果

(7) DATE BIKE の利用回数

DATE BIKE の利用回数は、年々増加しており、令和6年度末時点で、総利用回数は116.7万回に達しています。

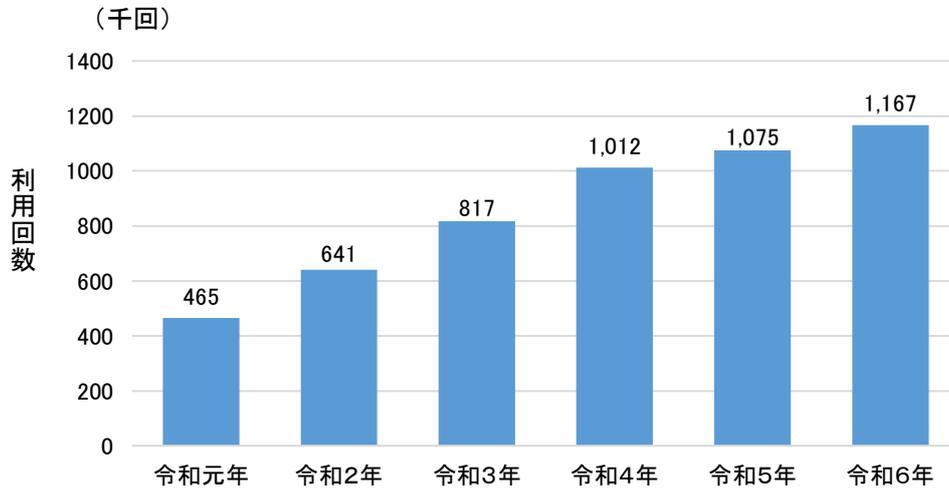


図 3.54 DATE BIKE の利用状況の推移(利用回数)

資料：DATE BIKE 利用回数データ

(イ) 自転車の楽しさを感じられる環境づくりの取り組みの認知度

各年度の自転車に関するWEBアンケート調査によると、本市の自転車の楽しさを感じられる環境づくりの取り組み（DATE BIKE のような、みんなが使える自転車を広めたり、自転車の楽しさを感じられる環境づくり）の認知度は、60%～70%程度で推移しています。

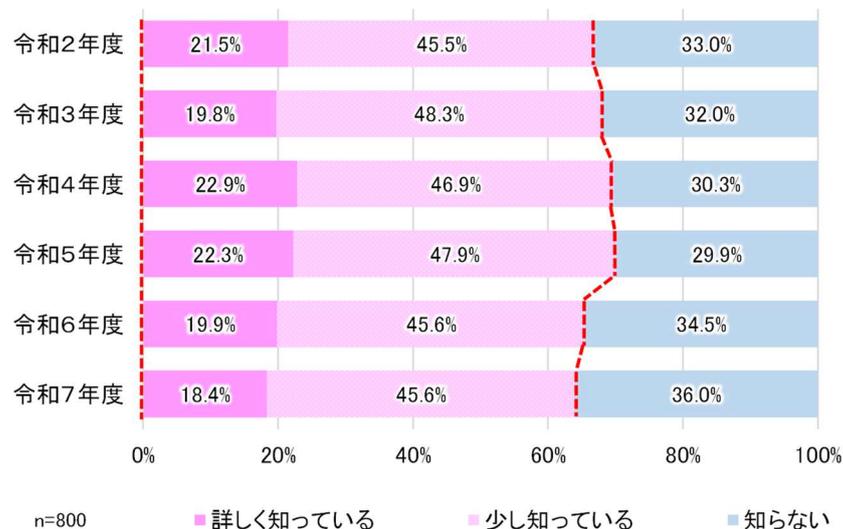


図 3.55 自転車の楽しさを感じられる環境づくりの取り組みの認知度

※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある

資料：自転車に関するWEBアンケート調査（各年度）

(ウ) 日常生活で自転車を利用する人の割合

各年度の自転車に関するWEBアンケート調査によると、週1回以上自転車を利用する割合は30%前後で推移しています。

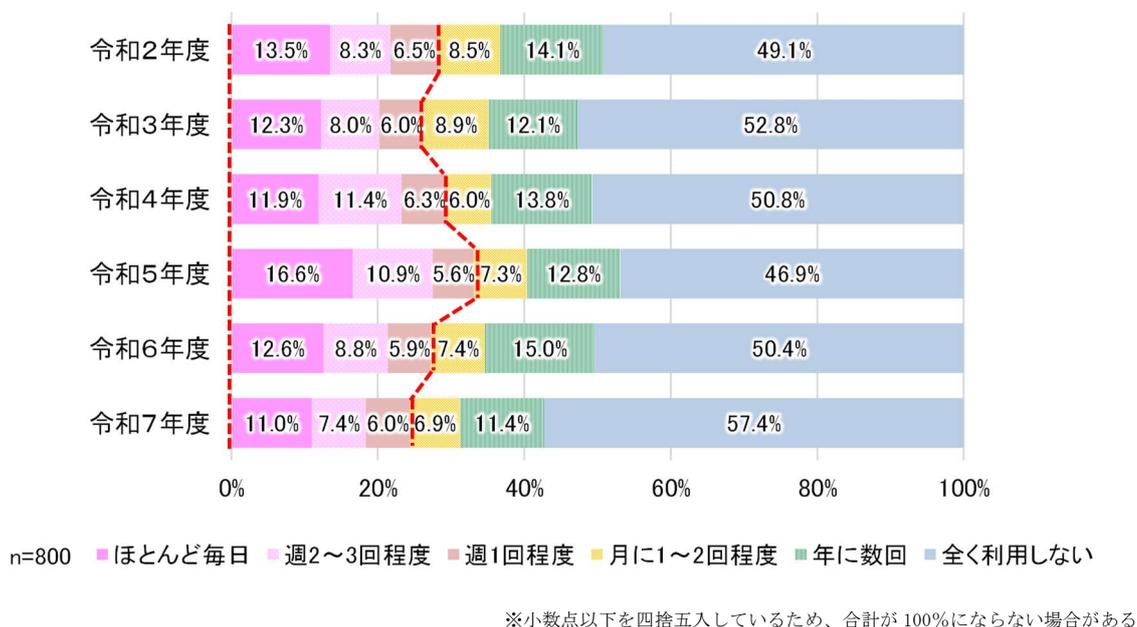


図 3.56 日常生活で自転車を利用する人の割合

資料：自転車に関するWEBアンケート調査（各年度）

(エ) サイクリングへの興味・関心

各年度の自転車に関するWEBアンケート調査によると、サイクリングに関心を持っているとの回答は30%前後で推移しており、現状では関心のない市民が多いことが窺えます。

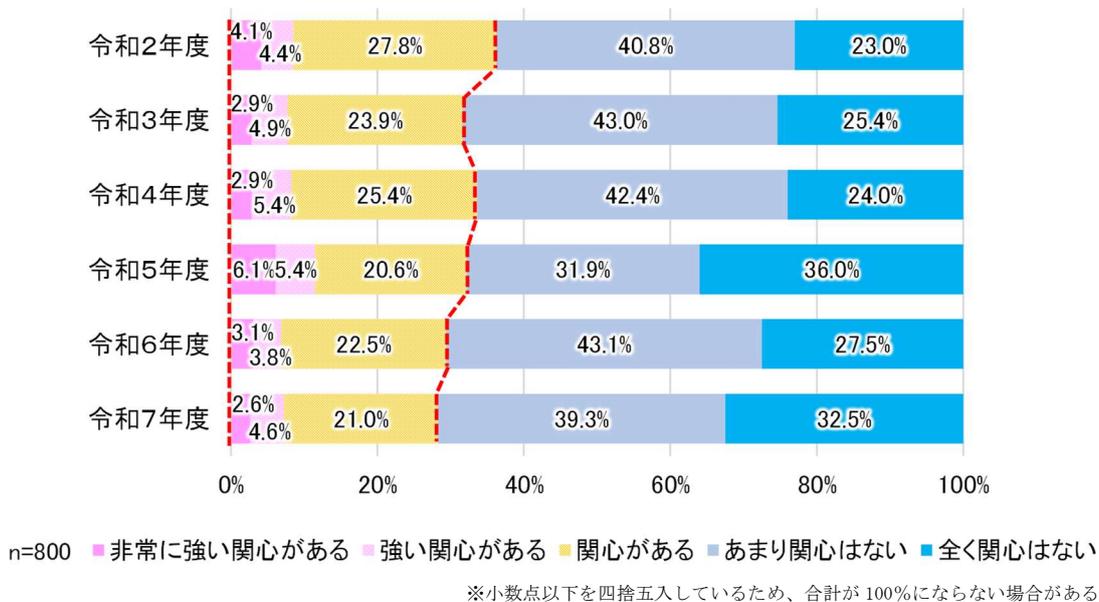


図 3.57 サイクリングに対する市民の関心度

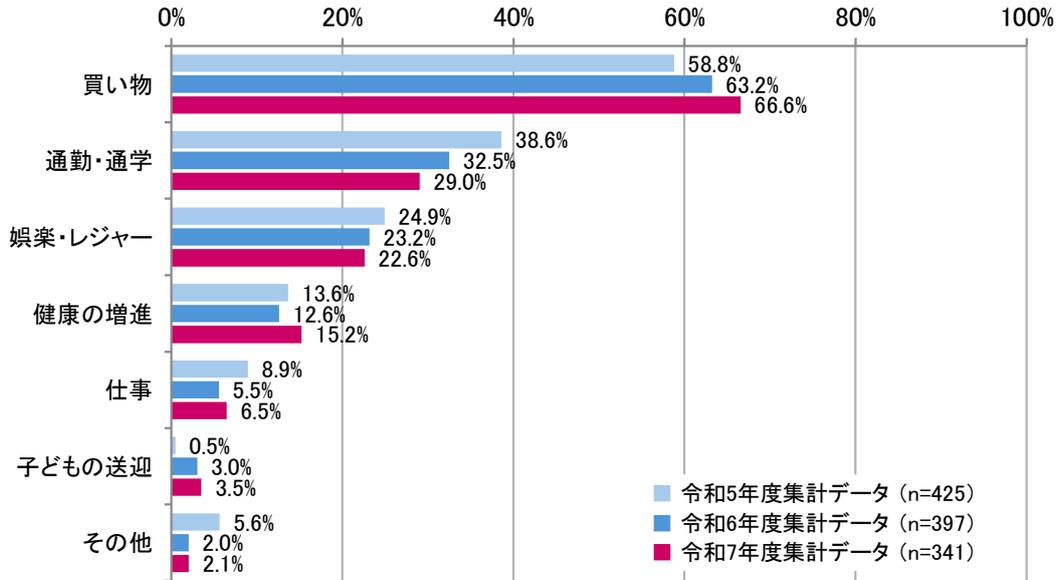
資料：自転車に関するWEBアンケート調査（各年度）



(オ) 自転車利用目的

各年度の自転車に関するWEBアンケート調査によると、自転車利用目的は、「買い物」が60%前後で最も多く、次いで「通勤・通学」が30%前後となっています。

また、調査結果と回答者属性でクロス集計を行い、自転車利用目的が「通勤」と考えられる利用者の割合（職業が「学生」以外の属性のうち、自転車利用の目的が「通勤・通学」である自転車利用者）を導出したところ、自転車利用目的が「通勤」と考えられる利用者の割合は10%台で推移しています。



※自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 3.58 自転車利用目的の割合

資料：自転車に関するWEBアンケート調査（令和5年度～令和7年度）

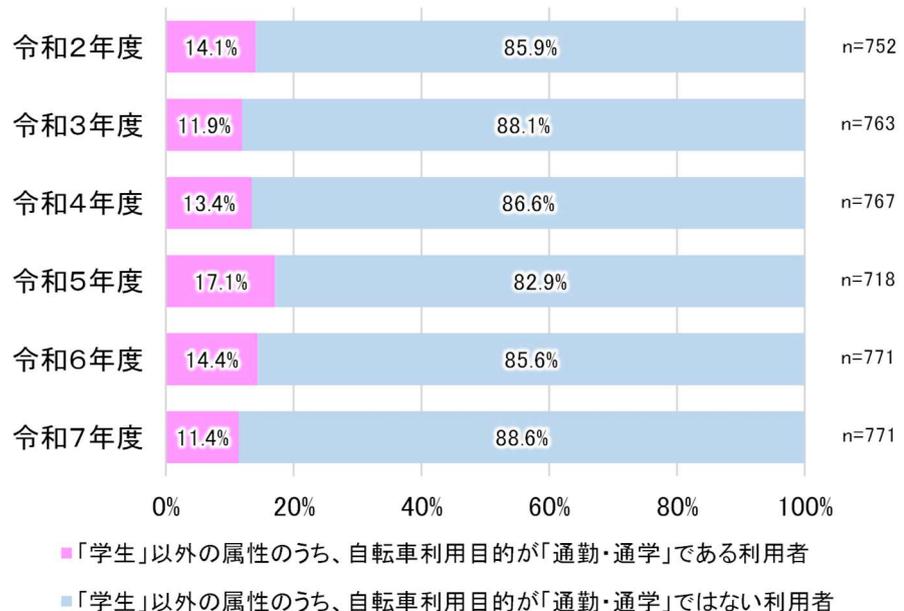


図 3.59 自転車利用目的が「通勤」と考えられる利用者の割合

資料：自転車に関するWEBアンケート調査（各年度）

(4) 施策全体での取り組み成果

1) 自転車事故の発生状況

市内の自転車事故発生件数は減少傾向で推移しており、令和7年の自転車事故件数は過去10年で2番目に低い373件ですが、自転車が第一当事者*となる事故件数については、近年増減を繰り返しており、横ばい傾向となっています。

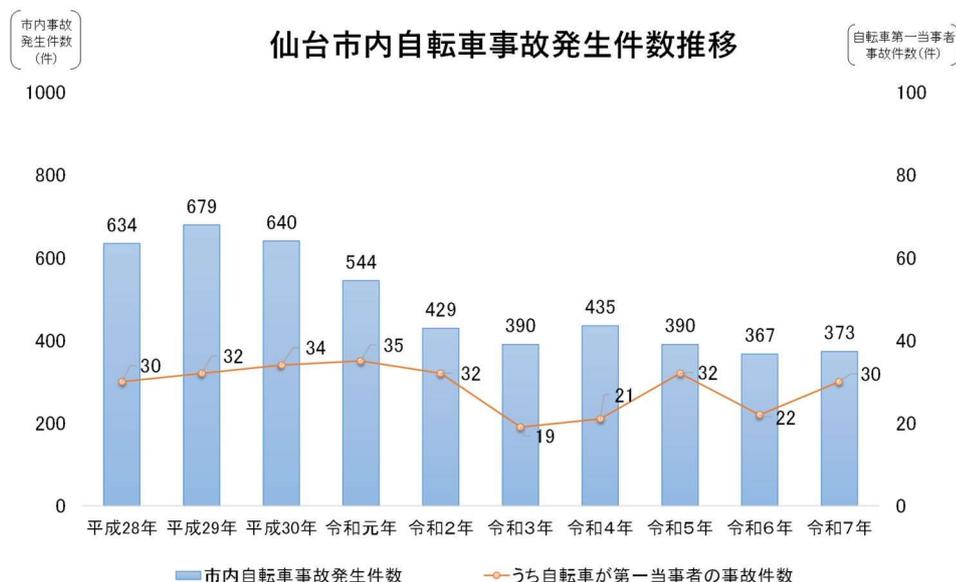


図 3.60 市内自転車事故の発生件数の推移(平成28年～令和7年)

資料：宮城県警察

市内自転車事故死傷者のうち、若年層(15～19歳)の占める割合が最も高く、また、約4割に何らかの違反がみられます。

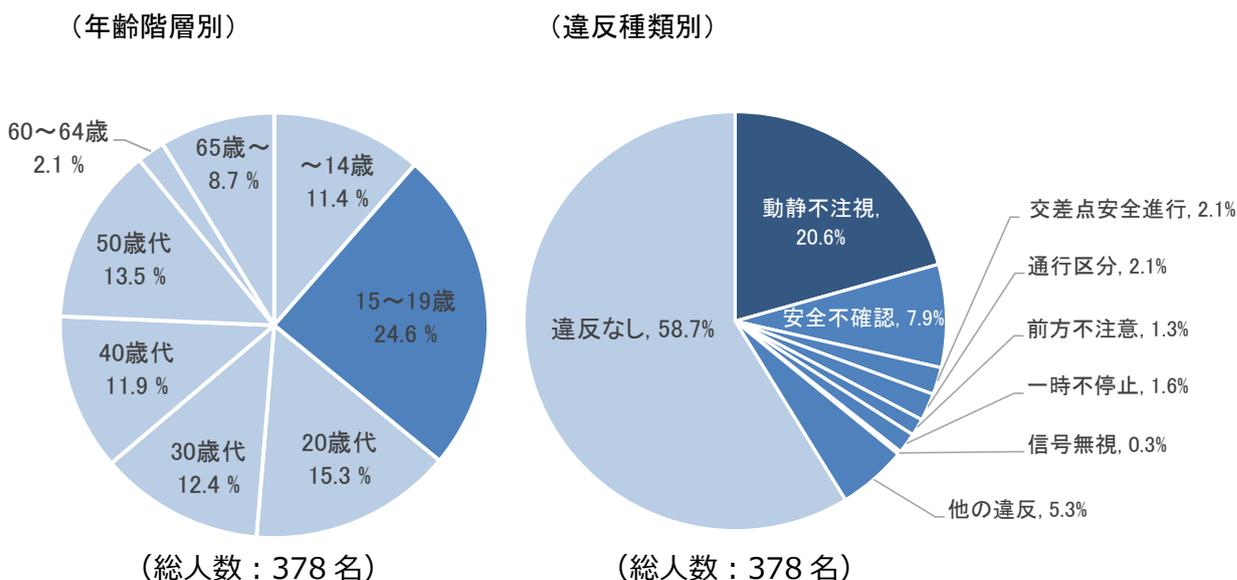


図 3.61 市内自転車事故による年齢別・違反種類別死傷者の割合(令和7年)

資料：宮城県警察



2) 自転車施策に対する満足度

各年度の自転車に関するWEBアンケート調査によると、本市の自転車施策について満足しているとの回答は30%前後となっており、横ばいで推移しています。また、重要度が高いと感じる取り組みとして、「車道に自転車が安全に走れる車線を作る」、「自転車に関する交通安全教育を充実させる」、「違法駐輪している自転車の撤去を強化する」、「駅や商業施設の近くで使える駐輪場を増やす」が特に多く挙げられています。

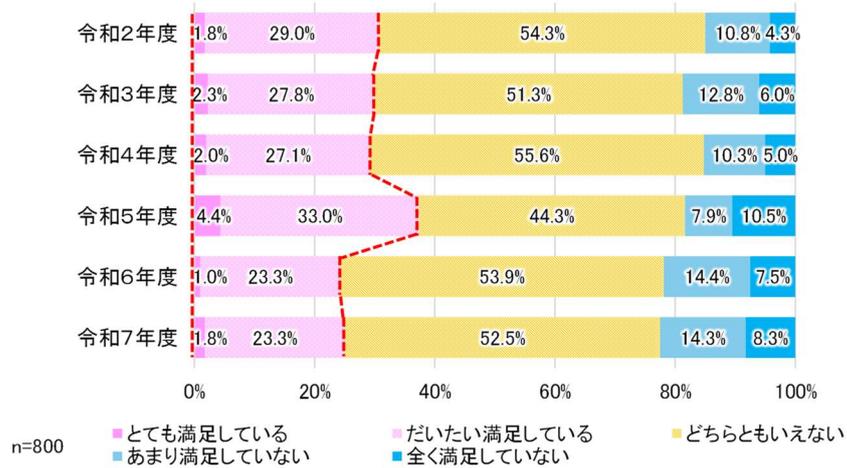


図 3.62 本市の自転車に関する取り組みの満足度

資料：自転車に関するWEBアンケート調査（各年度）

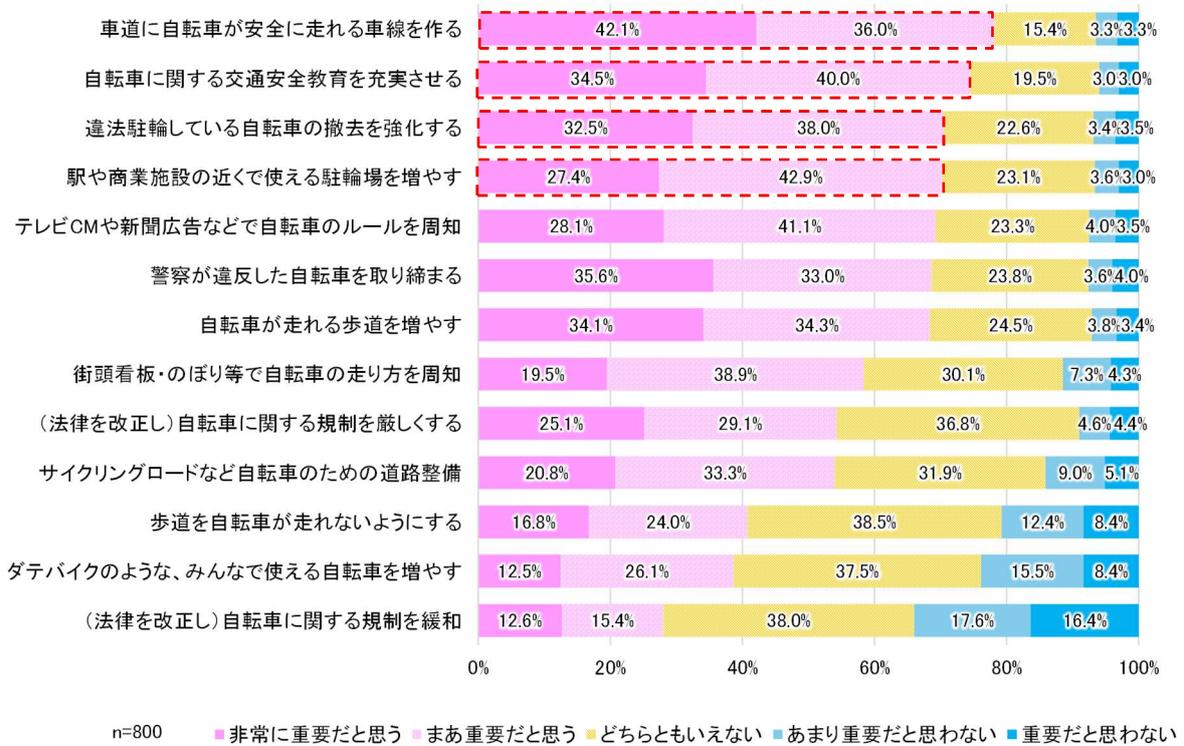


図 3.63 本市の自転車に関する取り組みの重要度

資料：自転車に関するWEBアンケート調査（令和7年度）

(5) 評価指標の達成状況

前回の計画における評価指標の達成状況を整理すると、以下のとおりとなっています。

表 3.14 前回の計画における評価指標の達成状況

基本方針	評価指標	目標	実績					評価
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
基本方針1 自転車の安全 利用意識のさらなる向上	市民の自転車のルールに対する理解度	90% (令和7年度末)	80%	81%	80%	79%	80%	理解度は80%前後で推移しているが、目標値90%に向けて、更なる取り組みが必要。
	市民の自転車のルールに対する遵守率	70% (令和7年度末)	63%	55%	60%	56%	58%	遵守率は60%前後で推移しているが、目標値70%に向けて、更なる取り組みが必要。
	自転車損害賠償保険等の加入率	85% (令和7年度末)	64%	64%	61%	63%	60%	加入率は60%前後で推移しているが、目標値85%に向けて、更なる取り組みが必要。
	ヘルメット着用率	30% (令和7年度末)	13%	12%	35%	29%	28%	令和4年度以前は10%強を推移し低調であったが、令和5年度からは30%前後を推移。
基本方針2 自転車を安全・快適に利用できる都市環境の形成	「自転車ネットワーク路線」の自転車通行空間整備延長	33.5km (令和7年度末)	13.4km	16.0km	19.6km	23.7km	28.2km	「自転車ネットワーク路線」に対する整備延長は概ね堅調に推移。
	「あんしん通行路線」の自転車通行空間整備延長	6.4km (令和7年度末)	1.9km	3.2km	5.1km	5.6km	5.6km	「あんしん通行路線」に対する整備延長は概ね堅調に推移。
	都心部における放置自転車台数	- (対前年度比)	407台	421台	444台	382台	406台	都心部における放置自転車台数は、近年は概ね横ばい傾向。
基本方針3 自転車の強みを発揮した地域づくり	コミュニティサイクルの利用回数	100万回/年度	81.7万回/年度	101.2万回/年度	107.5万回/年度	116.7万回/年度	95.3万回/年度(※)	増加傾向で推移しており、令和4年度からは目標値の利用回数100万回を上回った。
	週1回以上自転車を利用する割合	+ (対前年度比)	26%	30%	33%	27%	24%	週1回以上自転車を利用する割合は30%前後で推移。
	自転車を活用したコンテンツの創出	各年度2件	3件	2件	2件	2件	2件	各年度2件以上で堅調にコンテンツを創出。
プラン全体	自転車の事故件数	350件 (令和7年) [暦年実績]	390件	435件	390件	367件	373件	減少傾向で推移しており、令和6年の自転車事故件数は近年で最も低い为目标は未達成。
	自転車が第一当事者となる自転車事故件数	15件 (令和7年) [暦年実績]	19件	21件	32件	22件	30件	自転車が第一当事者の事故件数は近年増減を繰り返しており、横ばい傾向にある。
	本市の自転車施策に対する満足度	+ (対前年度比)	30%	29%	37%	24%	25%	自転車施策に対する満足度は、概ね30%前後で推移も、近年は横ばい傾向。

※コミュニティサイクルの利用回数：令和7年度実績については、令和7年4月から12月までの利用実績



2 自転車の安全な利活用に向けた課題

本市における自転車を取り巻く状況や、前回計画に基づくこれまでの取り組みの状況等を踏まえた課題を整理すると、自転車安全利用意識の浸透とルール遵守や、自転車の安全で快適な移動を促す都市環境の拡充、自転車を活かしたまちの魅力向上といった課題が考えられます。本市における自転車の安全な利活用推進に向け、これらの課題解決を図るための方向性から、必要な施策を講ずることとします。

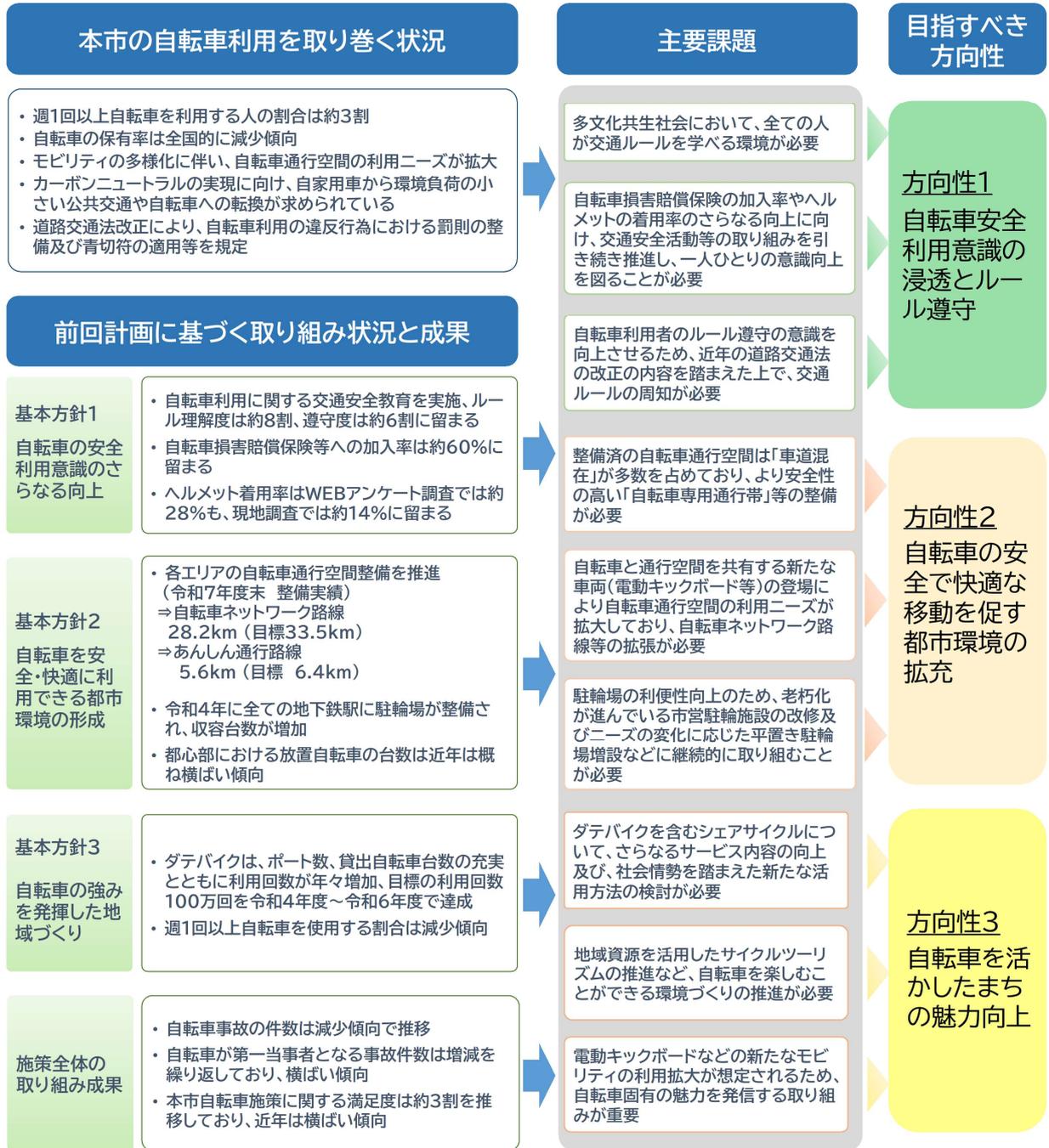


図 3.64 本市の自転車利活用推進に向けた課題整理